

江南市立宮田東保育園・藤里保育園の統合（案）について

1 統合整備の趣旨

江南市では、老朽化した公共施設の改修や更新、維持管理やそれらに要する財源不足、多様化する市民ニーズに対応するため、平成27年度（2015年度）に公共施設等の全体像を明らかにし、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化を実施していくため、「江南市公共施設等総合管理計画」を、平成29年度（2017年度）に公共施設の長期的な視点に立った計画的かつ効果的な再配置を実現させるため、「江南市公共施設再配置計画」を策定し、公共施設マネジメントの推進に取り組んでいます。

また、保育所に関し、公共施設再配置計画で定めた対応方策をより具体化し、着実に実施するための指針となる「江南市保育所等の配置に関する基本方針」を定めました。この方針に基づき、江南市立宮田東保育園と藤里保育園については、下記のとおり整備・運営することとします。

2 保育所の整備・運営の概要

(1) 統合対象施設

施設名称	宮田東保育園	藤里保育園
建設年度	S48年度（1973年度） （築50年：耐用年数47年）	S46年度（1971年度） （築52年：耐用年数47年）
所在地	宮田神明町栄174番地	藤ヶ丘7丁目1番地16
延床面積	1,256.51㎡	1,145.09㎡
敷地面積	2,312.69㎡	2,879.08㎡ （うち借地2,879.08㎡）
定員	96人	116人
児童数	46人	59人
定員充足率	47.92%	50.86%
実施事業	延長保育、一時保育	延長保育、特別支援保育
課題	<ul style="list-style-type: none"> 両施設とも建築後50年を経過しており、改修工事優先度が高い（老朽化）。 市立保育所の中で最も定員充足率が低くなっている。 藤里保育園敷地はURから無償で借り受けているが、今後有償となる可能性がある。 	

※実施事業は通常保育以外。定員・児童数・定員充足率は令和4年度末時点

(参考)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
宮田東	3人	6人	6人	14人	7人	10人	46人
藤里	0人	6人	10人	11人	19人	13人	59人
計	3人	12人	16人	25人	26人	23人	105人

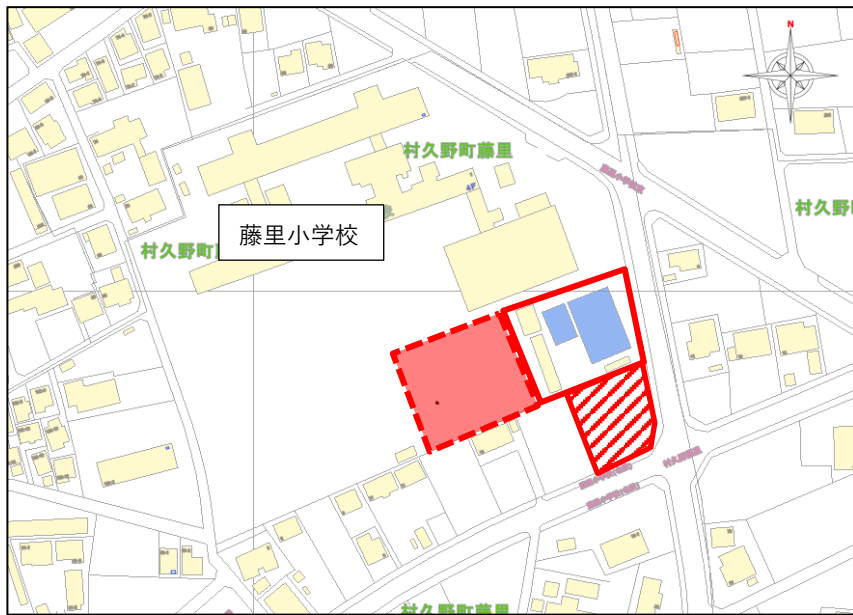
(2) 整備予定地

所在地		地積	備考
村久野町藤里1番 (藤里小学校)	プール跡地	約1,500㎡	小学校の水泳授業は民間施設で行っている。
	その他学校敷地	約1,500㎡	
活用可能地(藤里小学校隣接地)		約900㎡	駐車場としての利用を想定
計		約3,900㎡	

※藤里小学校プールは令和7年度解体予定

※江南市保育所等の配置に関する基本方針
(市立保育所の統合整備における適地の例)

移転先の土地は、市が所有する土地等の中から 4,000㎡～5,000㎡程度の土地を選定し、園舎や園庭のほか、十分な駐車スペースを確保します。



- プール
- 活用可能地
- その他学校敷地

(3) 新施設の概要（案）

	前	後	縮減面積
定員 （児童数）	215人 （105人）	120～130人程度	
延床面積	2,401.60 m ²	1,184.00 m ²	△1,217.60 m ² (縮減率△50.7%)
運営手法	公設公営		
実施事業	延長保育、特別支援保育、一時保育		
その他	給食調理業務の委託を検討		
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設老朽化の解消 ・更新費用の縮減 ・駐車場の確保 ・保育士不足の解消 		

※江南市保育所等の配置に関する基本方針

(4-3 宮田・藤ヶ丘地区 市立保育所の配置の方針)

市内で最も人口の減少幅が大きく、また、市立保育所の定員充足率が低いことから、宮田・藤ヶ丘地区に現在 4 園ある市立保育所のうち、2 園ずつ 2 箇所統合し、1 園は基幹園とします。宮田・藤ヶ丘地区の市立保育所は 2 園とします。

地区内に 1 箇所ある認定こども園と連携しながら、地区の保育サービスの質の向上を図ります。

(4) その他

- ・その他学校敷地（グラウンド）の使用面積、境界線は、小学校の活動に支障のないよう、十分配慮します。
- ・保護者の自動車による送迎に伴う渋滞や事故の危険を防ぐため、送迎のための駐車スペースの確保や、園舎・園庭及び駐車場の配置、経路に配慮した計画とします。
- ・新施設供用開始後は、小学校と保育園の連携を深めていきます。

3. スケジュール

令和6年度	用地購入、説明会
令和6・7年度	設計
令和7年度	プール解体
令和8年度	建設
令和9年4月	供用開始